

「秋季釈菜」(多久聖廟)

2025

第66号

令和7年  
9月定例会



市民と議会をつなぐ

議会だより



まちのひと  
—多久で見た—





# 令和7年 9月定例会

令和7年9月市議会定例会は、9月30日から10月23日まで（会期24日間）開かれました。今回は6人の議員が市政一般に対する質問を行い、議案や予算などについて審議を行いました。また今議会では令和6年度各種決算についても、審議を行いました。

市長から提出されました23件（条例3件、予算5件、決算9件、その他6件）の議案について審議し、いずれも原案どおり可決しました。

## 9月定例会の主な議案

### （甲議案） 予算以外の議案

#### 多久市税条例の一部を改正する条例

地方税条例などの一部改正に伴い、条例の一部を改正するものです。

### （主な内容）

・個人市民税に係る特定親族特別控除の創設

《施行日》 令和8年1月1日

・加熱式たばこに係る市たばこ税の課税標準の特例

《施行日》 令和8年4月1日

・公示送達に関する取扱いの見直し

《施行日》 法附則第1条第12号に掲げる規定の施行の日

#### 多久市手話言語の普及および障害の特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例

手話が言語であることを普及させるとともに、障害のある人が必要とするコミュニケーション手段の利用を促進することにより、誰もがお互いに人格と個性を尊重し、地域で支えあいながら安心して暮らすことのできる共生社会を実現するため条例を制定するものです。

《施行日》 公布の日

### （乙議案） 予算に関する議案

#### 令和7年度多久市一般会計補正予算（第4号）

##### ▼物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業（1,367万4千円）

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰に対する次の支援事業に要する経費

##### ①医療機関等物価高騰対応支援補助金

・電気、ガス、燃料費などの物価高騰の長期化により影響を受けている医療機関の経営を支えるために、施設規模に応じて支援する事業です。

##### 【支援内容】

・病院・医院・歯科医院  
32,000円＋病床数×11,200円  
・保険薬局 16,000円



##### ②福祉施設等物価高騰対応支援補助金

・電気、ガス、燃料費などの物価高騰の長期化により影響を受けている高齢・障害者支援事業所の経営を支えるために、施設規模形態に応じて支援する事業です。

##### 【支援内容】

・入所系事業所  
32,000円＋定員×3,200円  
・通所系事業所  
16,000円＋定員×1,600円  
・訪問系事業所 16,000円

##### ③医療機関等給食費支援補助金

・保険点数に反映できない入院患者に提供する食事の食料費の高騰分に対して、事業者負担の一部を負担し支援する事業です。

##### 【事業内容】

病院 使用病床数×14,172円



▼新規出店者誘致支援事業費補助金  
(200万円)

市内の空き家(空き店舗)に新規出店する際に、店舗改装費を補助する事業を増額します。店舗改装費(上限50万円)当初2件分↓4件分

◆6,401万8千円を増額し、予算総額15億7,193万円とする補正予算を、原案どおり可決しました。



令和7年度多久市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

前年度繰越金を基金に積み立て、前年度精算償還金を基金より繰り入れするなどの議案です。

◆5,718万9千円を増額し、予算総額26億6,127万1千円とする補正予算を、原案どおり可決しました。



令和7年度多久市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

前年度繰越金を事業主体の広域連合へ納付する議案です。

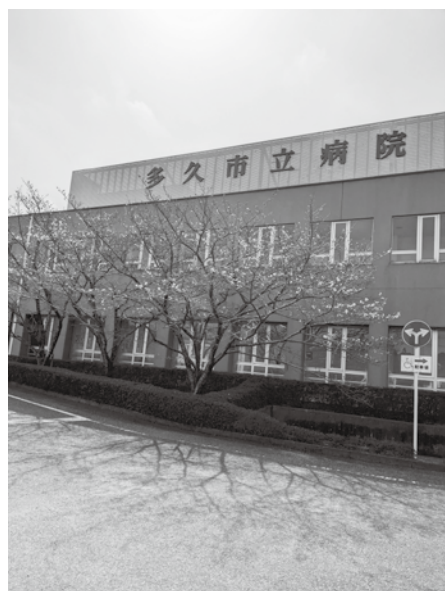
◆789万円を増額し、予算総額3億5,185万円とする補正予算を、原案どおり可決しました。



令和7年度多久市病院事業精算特別会計補正予算(第1号)

余剰金収入・繰出金を減額する議案です。

◆1億265万8千円を減額し、予算総額2億724万2千円とする補正予算を、原案どおり可決しました。



各常任委員会のうごき

◎総務文教委員会

9月22日 教育委員会との意見交換会  
10月28日(30日)

視察研修(大阪府岸和田市、兵庫県神戸市、山口県長門市)

◎産業厚生委員会

8月20日 農業関係団体との意見交換会  
9月17日 観光関係団体との意見交換会  
11月4日(6日)

視察研修(群馬県沼田市 金井農園、栃木県足利市、足利学校)

◎広報委員会

7月1日 第1回議会だより編集  
7月8日 第2回議会だより編集  
7月15日 第3回議会だより編集

◎議会運営委員会

9月26日 議会運営委員会  
10月22日 議会運営委員会



# 議案質疑

提出された議案について、議案の提出者（市長か議員）に対して、議案の内容や提案の理由などについて疑問点や不明な点を尋ねること

## 渡島 幸司



### ■多久市手話言語の普及および障害の特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例について

- Q この条例を制定しようとするにあたってどのような背景があったのか。
- A 手話をはじめとした障害者のコミュニケーション手段の状況および国や自治体の動きです。法律により、手話施策の推進、充実が求められるようになっていきます。

Q 「障害の特性に応じた」とあるが、具体的にはどのような障害を想定しているのか。

A 身体や知的、発達障害を含む精神、その他の心身機能における障害としています。

Q 施策の推進方針について具体的な取り組みなどは考えているのか。

A 手話言語に対する理解の促進および手話言語の普及、障害の特性に応じたコミュニケーション手段の利用、コミュニケーション支援者の養成および確保など、関係団体と連携を図り、施策を推進していきます。

## 市丸 勝義



### ■物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業に要する経費医療機関等給食費支援補助金 4,337千円について

Q 事業の詳細は。

A 入院施設を持ち、食事を提供している病院に対して基準日に入院をされている患者数に単価14,172円を掛けて、食料品の高騰分を補助するものです。

Q 補助単価の算定根拠は。

A 帝国データバンクの調べによると、2024年から2025年の食料品に係る値上げは2.8%、ひと月世帯

当たり2,456円と予測されています。

多久市内では1世帯当たり2.08人ですので、2,456円を2.08人で割って、1人当たりの月額1,181円に12月を掛けた金額で14,172円となります。

Q なぜ個人でなく事業者への補助となっているのか。

A 入院中の食事代は総額と自己負担額が国によって定められています。したがって物価が高騰しても、患者さんが支払う額は公定価格で定められていますので、今回は事業者に対して補助をすることで医療機関の経営を支えるものです。



## 中島 慶子



### ■物価高騰対応支援地方創生臨時交付金事業に要する経費13,674千円について

Q 概要と該当施設などの詳細は。

A 近年の燃料費などの物価高騰の影響を受けている医療機関・福祉施設などに対して入院患者数・入所者数・規模に応じ、経済的支援を行うもので、医療機関については病院3か所、医院7か所、歯科医院6か所、保険薬局11か所です。また福祉施設

については入所系19か所、通所系32か所、訪問系18か所で全体69か所の事業所です。

Q 歯科との密接業種の歯科技工所は対象でないのか。

A 保険点数で営業されている医療機関を対象にしていますので、歯科技工所は対象外です。

Q 交付金手続きの方法は。

A 事業所からの申請となりますが、対象となる事業所、医療機関について把握していますので、手続き漏れが無いように万全の対応を図っていきます。



# 決算特別委員会報告

## 決算特別委員会 審査報告

決算特別委員会が付託を受けた以下の9議案については、慎重な審査および現地踏査の結果、予算編成の目的に沿って執行されていることを認め、原案どおり認定・可決すべきものと決定しました。

議案乙第18号	多久市一般会計歳入歳出決算
議案乙第19号	多久市給与管理・物品調達特別会計歳入歳出決算
議案乙第20号	多久市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算
議案乙第21号	多久市宅地造成事業特別会計歳入歳出決算
議案乙第22号	多久市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
議案乙第23号	多久市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
議案乙第24号	多久市病院事業会計決算
議案乙第25号	多久市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
議案乙第26号	多久市下水道事業会計決算

多久市の令和6年度一般会計の決算歳入(収入)は180億9,341万1,934円で、決算歳出(支出)は17億2,935万9,632円でした。収入から支出を引いた3億6,405万2,302円から、令和7年度に繰り越した6,509万円を引いた2億9,896万2,302円が実質的な収支(黒字)となっています。

### 《令和6年度の施策について》

#### 定住政策推進 (2,590万8千円)

市外からの転入の推進および転出者を抑制するための定住奨励事業3事業6項目です。

- ・子育て若者世帯定住補助金 16世帯54人
- ・空き家バンク活用補助金 7世帯14人
- ・親元同居増改築等補助金 4世帯13人
- ・移住子育て世帯家賃補助金 16世帯59人
- ・移住支援事業補助金 1世帯3人
- ・新婚世帯家賃補助金 58世帯120人

※くわしい内容については総合政策課まで

### ふるさと応援寄附

(7億4,440万5千円)  
ふるさと納税に対する返礼品および事務経費です。

・令和6年度ふるさと納税の件数および金額  
67,672件  
13億5,986万6千円

### 不良住宅除去費補助金 (480万円)

管理不全となっている不良住宅の解体費用について助成を行う経費です。

・空き家4件 ・空長屋1件  
※市内の空き家 910件  
(令和3年度調査)

### 市制施行70周年記念事業

(376万7千円)

市制施行70周年を迎えるにあたり、将来に向かって飛躍する創始の年と位置付け、記念式典や様々な事業が実施されました。



▲市制施行70周年 記念式典



▲70周年記念事業「出張!なんでも鑑定団in多久」

### 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業 (4億7,153万4千円)

物価高騰での影響を支援するために、臨時交付金を活用した事業です。

- ・物価高騰対応重点支援給付金事業 (低所得者支援) 2億608万円
- ・プレミアム付商品券発行事業 2億159万円

※令和7年度発行の多久市団結クーポンの使用期限は7年12月31日までです。お忘れなく!

### ふるさと振興事業 (193万円)

地域活性化のため基金を活用した各種活動に対する助成金

#### イベント事業

11件 650,000円

#### 人材育成事業

47件 1,280,000円

## 敬老事業 (222万3千円)

市内最高齢者および100歳到達者への表敬訪問、敬老祝金の支給

・88歳(1万円)

131人(昨年度159人)

・100歳(3万円)

16人(昨年度10人)

・101歳以上(1万円)

24人(昨年度21人)

## 介護予防・日常生活支援総合事業 (2,430万3千円)

・介護予防・生活支援サービス事業、一般介護予防事業(「いきいき百歳体操」かみかみ百歳体操など実施)。

・運転免許証返納または失効後の移動手段を支援するためにタクシー運賃の割引券(運賃の2割、最大600円)を交付

申請者91名 利用枚数643枚 ※くわしい内容については高齢・障害者支援課まで

## 児童センター運営事業 (2,882万9千円)

児童の健康の増進や、情操を豊かにするための相談および指導

令和6年度 児童館「あじさい」利用人数 36,379人

(昨年度31,385人)



▲ごみ処理場外観

## ごみ収集および処理事業 (1億3,873万1千円)

ごみ全体の処理量は5,072t(昨年度5,219t)を3%の削減となっています。

リサイクル推進とごみ減量の取り組みとして、ごみ収集力レンダーに分別一覧を掲載して啓発しています。



▲あじさい内観

## 道路維持修繕費 (5,980万2千円)

市道路面の状況を調査し計画的に維持修繕を行い、各地区や地域団体に協力いただいて道路美化・愛護に努めています。

・道路愛護助成金

68行政区2団体 148件

※各行政区年間3回まで申請できます

## 消防団活動 (812万9千円)

消防ポンプ車や消防団員詰所の維持費、ドローンを追加配備しました。

令和6年度 火災発生件数

建物2件 その他火災3件

## 教育費 (1億3,462万円)

平成29年4月に義務教育学校を開設して8年目を迎えました。

遠距離通学対策として、スクールバス17台で24路線を運航しています。

10月のSAGA2024国民スポーツ大会では弓道競技とスポーツクライミング競技を実施しました。



▲クライミング

## 市内義務教育学校児童・生徒数推移

	中央校	東部校	西溪校
令和6年度	767人	280人	215人
令和3年度	823人	310人	254人
平成29年度	821人	331人	286人

## 《付帯意見として》

決算特別委員会として、今後改善あるいは検討を求める事項について、次のとおり意見を取りまとめ、今後の施策や予算に反映するなど、適時適切な措置を講じるように付帯意見しました。

### 歳入

まず、市税について、税の公平性を期すため、法令に則り滞納処分を行いつつ、更なる収納率の向上に努めること。

次に、基金などの財産運用について、前年度から金利の水準が上昇傾向にあるため、安全かつ効果的な収益を確保するように検討し、運用すること。

### 歳出

#### 【総務費】

まず、職員の時間外勤務手当が増えたことに関連し、職員の残業が増えることがストレスになっているの



ではないか、残業を減らす取り組みや心理的負担を軽減する取り組みなど配慮すること。

次に、職員研修について、組織の中で人材を育てることは重要であり、更に工夫して人材育成に努めること。

次に、広報活動について、Facebook、LINE、X、Instagramの4種類のSNSに取り組みられているが、全庁的な取り組みとして、写真や動画を用いた魅力ある発信で更に登録者数を増やし、多久のPRに努めること。

次に、ふるさと応援寄付事業に関して、寄附金は貴重な財源であり、返礼品を含めた経費については、法令を順守し、適正な運用に努めること。

最後に、防犯灯設置補助金について、蛍光灯の生産終了時期が迫っており、照明のLED化を急ぐ必要がある。防犯灯は、夜間の犯罪を抑止し、歩行者の安全と安心を確保するために不可欠であり、早めに対応すること。

### 【民生費】

発達障害児療育訓練事業について、早期の療育が子どもの発達支援に良い成果があるとの保護者の声がある。今後、子どもを見守りながら保護者の不安に寄り添った手立てを講じること。

### 【土木費】

公園遊具定期点検に関連して、点検などにより不具合が確認された遊具については、撤去を含めて早めの安全措置を講じること。また、今後の更新の際は、ユニバーサル遊具の導入も含めて検討すること。

### 【消防費】

消防団について、団員確保に苦慮している状況であり、団員の処遇改善や組織体制など今後のあり方について見直すことを検討すること。

### 【教育費】

義務教育学校費の短期留学制度事業について、子どもたちが様々な経験ができるよう、行き先については、国外に限ることなく、国内で本市と交流があるところなども検討し、参加者の拡充を図ること。

### ■宅地造成事業特別会計

定住促進施策として、平成26年度に宅地造成をし、平成29年度に分譲を完了している。これまでの宅地造成事業や民間の宅地開発による社会動態への影響を鑑み、事業の検討を進めていくこと。

## 《現地踏査について》



■ワーキングサポートセンター各種改修工事



■南別府線道路改築工事

道路改良工事 高エネルギー吸収落石防護柵 H=3.5m L=68.0m

起点側より空撮 全景

着工前

完成



■宮の前・天ヶ瀬・井上線落石対策工事

## 《付帯意見とついで》

ワーキングサポートセンターのウッドデッキ改修工事について、改修箇所以外にも木材の腐食が進行している部分があり、速やかに対応を検討すること。また、木材は、防水・腐食対策などの継続した維持補修が必要となるため、今後、大規模な改修が必要となる場合は、より耐久性の高い材質への変更についても検討すること。

# 一般質問一覧表

多久の  
気になる  
課題



中島 國孝 議員

『養護老人福祉施設について』

『認知症について』



田渕 厚 議員

『新市長の政策について』



彌富 博幸 議員

『少子化対策へのふるさと納税の活用について』

『道路整備とまちづくりについて』

『農業振興について』

『新市長の市政運営について』



坂口 絹代 議員

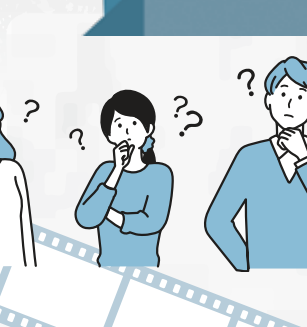
『安心安全の防災対策について』

『若者に選ばれる定住政策について』

市丸 勝義 議員

『市長の選挙公約について』

『交通施策について』



廣橋 時則 議員

『ふるさと納税について』





## 高齢者の セーフティネットは

### 養護老人福祉施設について

**中島** 養護老人福祉施設とは。

**答弁** 65歳以上の者であって、環境上の理由および経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な者を入居させ、自立した日常生活を営み、社会的活動に参加するために必要な指導および訓練、その他の援助を行う措置施設です。

**中島** 措置状況は。

**答弁** 県内施設に令和7年3月末で6施設40人となっています。

**中島** 多久市の施設の、公営時と民営化後の措置者の変化は。

**答弁** 令和7年3月末の措置数は市内から25人、民営化前と比べて7人、18%の減、市外からの措置が19人で、50%の減になっています。

**中島** 入所者の減少の要因は。

**答弁** 以前と比べて介護保険をはじめとする在宅サービスの充実、施設の利用が増えたことがあげられます。



中島 國孝 議員

### 認知症について

**中島** 認知症について高齢者を守るためにも、診断助成制度の導入は考えられないか。

**答弁** しっかりと検証した後に、研究していきたいと思っています。

**中島** 養護老人福祉施設の閉所が増えているが市はどう考えているのか。

**答弁** 公的なセーフティネットを担う重要な施設と認識しており、連携を図りながら、高齢者の安心・安全な生活の場として確保に努めたいと考えています。

## 人口減！ 子育て対策を急ぐ

### 新市長の政策について

**田淵** 定住対策の実績と課題は。

**答弁** 平成19年度から現在まで定住対策として3,497人（市外から1,364人）、今年度からの奨学金返還支援補助金は42人が利用されています。

課題は、転入者より転出者が上回っており、特に令和4年度から6年度にかけて高い水準で推移していますので、転出者対策と考えています。

**田淵** 急激な人口減少による影響は。

**答弁** 地域経済活動の縮小による商店街の閉鎖、農林業の後継者不足による農地の荒廃、空き家などの増加による治安の悪化、公共交通機関の縮小、伝統文化の担い手不足、市の事業継続や公共施設の維持などがあります。

**田淵** 今年4月から第2子から保育料無償化となったが、今後、全ての保育料の無償化を進めるのか。また、無償化すれば園児数と予算はどれ位になるのか？



田淵 厚 議員

**答弁** 令和7年9月1日の0歳児から2歳児の市内園児数は196人、このうち第1子からの保育料無償化の対象園児は74人で費用は2,200万円と試算、現在の第2子以降の対象園児は122人で費用は2,500万円です。今後、0歳児から2歳児の保育料無償化を目指したいと考えています。

## 大丈夫か人口？ 出生数も大幅減続く

少子化対策へのふるさと納税の活用について

**彌富** ふるさと振興基金の活用を拡大して「3人出産後、300万円お祝い金」を市の目玉としては。

**答弁** 現段階では出産祝い金などの現金給付は考えていません。しかし保護者の経済的負担の軽減は必要と考えており、子育てしたくなる街を実現していくために、寄付者の意向も踏まえ、全体のバランスを考慮していく必要があると考えています。



議員 幸博 彌富

## 道路整備とまちづくりについて

**彌富** 砂原踏切は放置されたままで、今後の方針は。

**答弁** 実施可能な事業を検討し、関係機関と協議を進めていきます。

**彌富** 203号線別府橋交差点を起点として県道25号線大井出橋までの直結道路、もしくは佐賀公立中央病院前に繋がる路線の検討は。

**答弁** 都市計画道路、別府羽佐間線の在り方について、令和8年度の都市計画審議会に諮り、決定することとしています。

## 農業振興について

**彌富** 麦の種子・暑さに強い水稻種子・燃料高騰への支援策は。

**答弁** 今後関係団体、農家の要望があれば種子支援について検討していきます。燃料は、国の暫定税率の動向を注視します。

## 子ども・若者・女性の声をカタチに

若者に選ばれる定住政策について

**坂口** 人口減少の要因である若い女性の流出原因は。

**答弁** 一般的に地方では若い女性が希望する職種や仕事が少ない、賃金格差、就労環境、性別役割分担意識など、ジェンダーに関する古い価値観が根強く残っていることが一因と言われています。さらに多久市においては、進学や就職によるものと考えます。



議員 代絹 坂口

**坂口** 原因や問題を解決するため取り組まれていることは。

**答弁** 多久市の子育て・教育環境を向上し、若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶えることを目標に設定し、女性の出産・妊娠期から子育て世代への支援を行い定住に繋がる取り組みを行っています。

**坂口** 直接子ども・若者・女性の声を聴き、その声を取り入れた施策作りはできないか。

**答弁** 国で示されている地方創生2・0基本構想の目指す目標として、若者、女性にも選ばれる地方をつくるということが示されており、多久市においても若者や、女性の声を聞きながら政策を作り上げることは重要だと考えます。いただいた意見などを総合計画などに反映しながら、市の施策や事業の構築に取り組みたい。





## 厳木多久バイパス無料化!?

### 交通施策について

**市丸** 厳木多久有料道路は無料化されるのか。

**答弁** 有料道路の無料化について佐賀県に確認したところ、料金徴収期間が令和8年7月29日までとなっていることから、現在対応について国と協議中であり、無料化は正式に決定していないということでした。



市丸勝義 議員

**市丸** もし無料化された場合、交通量がどのように変わるのか。

**答弁** 国土交通省が5年ごとに実施している全国道路・街路交通情勢調査の令和3年度のデータでは、厳木バイパスの無料区間である相知長部田インターチェンジから牧瀬インターチェンジの交通量から推測すると、国道203号を通過する車両は大きく減少するのではないかと考えられます。

**市丸** 交通量の減少による、地域の商工業への影響は。

**答弁** 市内の飲食店および商店を利用されている人は、そのお店に行くことを目的とされている人が大半と感じていますが、影響については懸念されるところだと思っていますので、無料化となった場合、まずは交通量の推移などを把握し、どのような影響が出るか精査する必要があると考えています。

## ふるさと納税で人口減少に歯止めを

### ふるさと納税について

**廣橋** ふるさと納税のポイント付与禁止の影響は。

**答弁** 大手ポータルサイトが寄附者へ行った調査では、これを機にふるさと納税をやめると回答した人は非常に少なかったとの結果が出ておりますので、市場規模は来年以降も変わらないと思っています。

**廣橋** 今年度のふるさと納税額は。

**答弁** 令和6年度は13億598万6千円です。

**廣橋** 10億円の納税額があった場合、経費を引いて、実際に使える金額は。

**答弁** 半分の5億円が活用できる金額です。

**廣橋** 寄附者はどういう項目に活用してほしいと考えていますか。

**答弁** 最も多い項目は、子どものための事業です。

**廣橋** 人口減少に歯止めをかけるためにも、転入先として多久市を選んでもらえるために0歳児から2歳児



の第1子から保育料の完全無償化にふるさと納税を使うことは検討できないか。

**答弁** さらに子育てしたくなるまちとして選ばれるため、0歳から2歳児の第1子からの保育料無償化を目指したいと考えています。その実現のためには、ふるさと納税の活用も含め、検討していくことになると考えています。



廣橋時則 議員

あッ!

—多久で見つけた— No.6

# まちのひと



**団体名** 社会福祉法人もやいの会  
障害者支援センターまや

**住 所** 南多久町下多久6103-2

**設 立** 2013年12月

**理事長** 川副 春海

**電話番号** 0952-76-4600

～ひと言メッセージ～

障害者の方々の幸せのために頑張っています

**Q.起業したキッカケは**

A.南部小学校跡地の利活用として農業と福祉との連携を多久市で行いたいと考えました。

**Q.多久の好きな所**

A.自然が豊かで人が優しい。

**Q.多久市に望むこと**

A.障害のある人が安心安全に暮らせる町。

**Q.目指すもの**

A.通所されている方が末永く楽しく通える場所。



～取材を終えて～

まやさんでは、障害者の方が栄養豊富なミディトマトとおいしい焼き菓子を作り販売されています。

## 議員たちの横顔

### 彌富博幸 議員

Q&A



**Q.一度は行きたい場所は**

A.南極大陸。

**Q.子どもの頃の夢は**

A.海外特派員。

**Q.あなたのヒーローは**

A.11年間戦場で生き抜いた帝国軍人の父。

～自己紹介～

絵ほど素敵なものはない。一生で一度描いてみるがいい。「キャンパス」と「我が心と大地」を耕せと挑むが草大盛で絵も発展途上です(笑)。



### 中島慶子 議員

Q&A



**Q.ストレス解消法は**

A.ゆったり長風呂。

**Q.休日の過ごし方**

A.花壇のお手入れ。

**Q.あなたのヒーローは**

A.ドジャース大谷翔平選手。

～自己紹介～

多久市初の女性議員として6期目に。現在副議長・産業厚生委員として活動中です。趣味は読書・書道・詩吟で、ボランティアで聖廟のガイドをしています。

